



「どこから削ったら良い形になるやろ～」
 勾玉作りの説明を聞き、石の形を確認しています。



縄文の会の方に「いいがになったね」と言われ
 「もっといいがにするわ」とやる気満々でした。



男の子の職人氣質でしょうか。思うような仕上がりになるまで根気よく削っています。家に帰っても満足いくまで、削ったり、磨いた子もいました。



紐を通して仕上がるとすぐに首にかけ
 宝物となりました。

押野児童館 「発見!ののいち in じどうかん」

『勾玉つくりと 森あそび』 平成24年5月26日(土)

参加人数 20名(1年~5年 男16名 女4名)

内容 ① 勾玉をつくる

② 縄文の森での森あそび

協力者 ふるさと歴史館 縄文の会

ボランティアガイドののいち里まち倶楽部

白山ネイチャーゲーム 地域の会



ロープで作ったクモの巣に引っ掛からないようにくぐります。「ここ押さえてるし、またいでや」とチームで協力です。



自然の形のままの木は登るのに最適です。低学年も上級生の真似をしながら登ります。



自然のブランコ。

縄文の森は子ども達をとりこにしました。